



もう、動き始めていますか？

～第3回 進路希望調査実施中～

「第3回進路希望調査」を実施しています。そろそろ、いくつかの学校にしばれていますか？夏休み中に体験や説明会に参加して、必要な情報が得られていますか？予定はありますか？

夏休み前に実施した「出前授業」もその一環だったのですよ。アンケートには、各専門学科への感想と共に「専門学科だからといって、専門的なことばかりすると思っていたけど最低限の数学や国語の知識が必要だと、学ばせてもらった」や「高校は勉強しかないようなイメージだったけど、こういう勉強もできると知ることができた」、「高校は通過点と聞き、なるほどと思った。自分のやりたい道を考え努力し、選択していきたいと思いました。」などがありました。やはり、実際に話を聞いたり、体験をすることでの新しい発見や学びがあるのです。説明会やオープンキャンパス、部活体験は、まだまだこれから続きます。どんどん参加していきましょう！

さて、進路希望調査表に記入する際には、(現時点で) 一番行きたい学校を第1希望欄に書くこと！そして、「第1希望は自分自身にとって1番良い方法で受験する」。これが基本です。

- ①公立前期選抜は、希望できるのは1校だけです。(第2希望はありません)また、学科によって定員の30%～100%まで様々です。自分の希望する学科が募集定員の何%なのかをよく確認する必要があります。(当然100%募集の学科は、受験機会は前期選抜のみ。それ以外は中期選抜で再チャレンジも可。)前回の調査では、第1希望を複数書いて迷っている人が多かったですが、そろそろ目標を1校にしばっていかないと、勉強も中途半端になってしまいますよ。

②公立前期選抜

の受験方法。

前期選抜には、大きく4通りの方法があります。

1つの学科に複数の受験方法が用意されている場合もあり、自分の希望する

学科が、どの選抜方法を採用しているのを知っておく必要があります。

③その他の専門学科
定員の100%。
堀川の探求学科・西京のエンタープライジング・嵯峨野のこすもす・桃山の自然科学などの専門学科およびスポーツ総合などです。

前期から受験した方が有利となります。

②職業に関する専門学科

①普通科
定員の30%。当然、中期選抜の方が募集定員が多いです。

公立前期
の各募集%

A1 学力検査＋報告書

A2 学力検査＋報告書＋実績報告書

B 報告書＋作文・面接

C 学力検査＋報告書＋実技検査＋面接

※学科により、微妙にちがうパターンあり

- ③公立中期選抜は、3つまで希望校が書けます(希望がなければ1校でも可)

希望校は 第1志望の第1順位 → 第1志望の第2順位 → 第2志望 の3つまで記入できます。特に第2志望は、無理に書いて埋める必要はありません。

- ④私立高校については前回、学科やコース名が書けてなかったり、間違えているケースが多かったです。推専・専願、併願の希望も含めて、しっかり調べて記入をしてください。

※最新の変更 京都明徳のみらい I コースは一括募集になりました。(総合、進学の違いなし)

